

楡葉町海岸線で発見された物質に関する調査・分析の実施について

当社は、楡葉町の井出川河口付近の海岸で発見された放射性物質が付着したと思われる物質について、今後、調査・分析を実施してまいりますのでお知らせいたします。

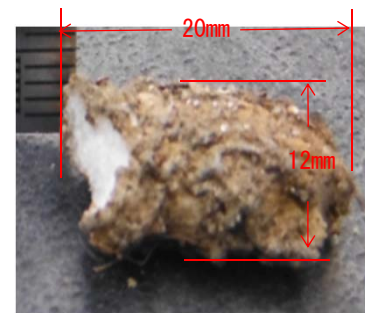
<概要>

- ・福島県が楡葉町の井出川河口付近の海岸で実施している復旧工事に伴い、県からの要請を受けた環境省からの依頼により、当社社員が空間線量率測定を実施。
9月27日11時頃、地上1cm高で線量率 $30 \mu\text{Sv/h}$ を超える地点を発見(地上1m高では $0.24 \mu\text{Sv/h}$)。
- ・同日16時頃、環境省職員とともに再測定を行ったところ、表面線量率 $20 \mu\text{Sv/h}$ の物質を発見。当該物質をビニール袋に収納し、現地で一時的に保管。
- ・9月28日14時30分頃、環境省職員とともに現地に出向き、当該物質を鉛遮へい容器(厚さ20mm)に収納。その後、当該地点近傍の線量を測定したところ、表面線量率 $15 \mu\text{Sv/h}$ の物質を新たに発見し、同様に鉛遮へい容器へ収納。
当該容器はビニール袋で養生後、環境省福島環境再生事務所浜通り南支所へ運搬、保管済み。
なお、物質回収後の地上1cm高の線量率は $0.20 \mu\text{Sv/h}$ (地上1m高では $0.14 \mu\text{Sv/h}$)であり、今回の範囲内に線量の高い地点は他に認められなかった。
- ・福島第一原子力発電所の事故に伴い発生した物質である可能性を踏まえ、今後、当社にて調査・分析を実施。

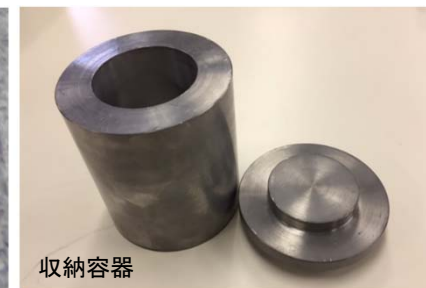
【回収された物質について】

1. 9月27日発見分

- (1) 表面線量率 $20 \mu\text{Sv/h}$
- (2) 寸法 長さ約20mm×幅12mm×厚さ約4mm
- (3) 形状 一部断面とみられる形状から、楕円形と推察
- (4) 性状 断面外観の目視により、高密度発泡スチロールまたはスポンジ形状と推察。



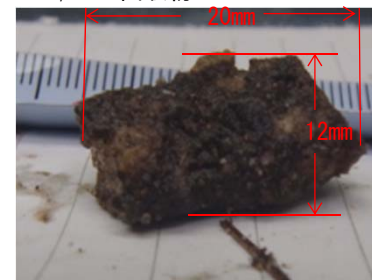
9/27の回収物



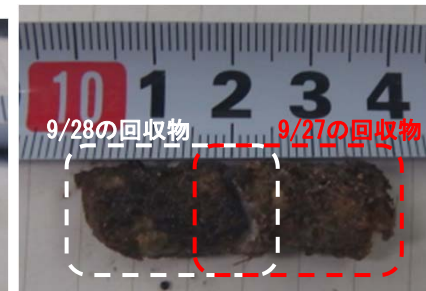
収納容器

2. 9月28日発見分

- (1) 表面線量率 $15 \mu\text{Sv/h}$
- (2) 寸法 長さ約20mm×幅12mm×厚さ約6mm
- (3) 形状 一部断面とみられる形状から、楕円形と推察
- (4) 性状 断面外観の目視により、高密度発泡スチロールまたはスポンジ形状と推察。



9/28の回収物



9/28の回収物

9/27の回収物

3. その他

9月27・28日に回収した双方の物質の断面を合わせたところ、2個の物質がかみ合うことを確認。